



早稲田大學附屬圖書館  
第四卷

第四卷  
全四冊

早稲田大學附屬圖書館  
寄第  
第 74 號  
第 卷  
出帶許不外館書此

1270  
1668  
1



門口白  
編 1668  
卷 1

靜齋學論語註小序

滿生冕曰。靜齋先生之誨門弟子必在一本本諸  
命矣。是為脩德之標。命者天之所命於人民之民命  
也。民之於命甚於水火。父義母慈子孝兄友弟恭。臯  
陶曰。天秩有典。勅我五典。五惇哉。此其一本也。此之  
所行者二焉。所謂立人之道曰仁與義。此之所出者  
四焉。宗廟也。社稷也。朝廷也。學校也。君子之所徵於  
人民者五焉。天道天物天時一也。天命有德五服五  
章二也。天討有罪五刑五用三也。念用庶徵四也。嚮  
用五福威用六極五也。己之所徵者一焉。曰德。忠信



者所以格德之階梯也。主忠信，甘受和，白受采。記曰：先王之道，忠信之人能受。適受冕之言，門人小子散在於遠邑者聞。靜齋先生之沒，頻請以所聞傳之。故冕也，傳其常情，以國字之便，弗敢巧言矣。欲使之得脩德之端也。郵人之過書，門者之傳聲，我尚不欲。若其元老老成志治之臣，躬執國政，勤在恤民也。雖曰未學有聞，先生之徵言，則職有利，斯其有發哉。命之降於宗廟，令之據於社稷，政之猶於朝廷，教之造於學校。詩曰：維天之命，於穆不已。命之弗可已也。其有發乎哉。君子知命，安永七年秋八月書。

靜齋學小引卷之一

南泉 滿生 冕成章 著

平安 佐野元苞 茂卿 校

靜齋兩齋先生曰：古聖人ノ人ニ學問ノ道ヲ教ルニツノシカタアリ、戰國以來其名ノミ遺テ其實ヲ失スニツトハ、文字ヲ名トス訓ヲ辭トス、詰ヲ事トス、名トハ人ノ覺ヨキヤウニスルナリ、其名ヲアグレハ其ワザモ理屈モ其中ニコモルヤウニスルコレ心ヲボヘノ本トスルナリ、辭トハモツトモナル理屈ナリ、其名ノワケヲ舉ルモノナリ、是民ニ示シ教ルタメニシタルモノニテ、此理屈ヲ知りタルバカリニテハ、其ワザハデキヌモノ

ナリ、事トハ、其名ニアル所ノイタシカタナリ、是ハ君子タル人ノ知ルコトナリ、此ニツノモノハ、一字ゴトニ皆ツナルヤウニシタルモノナリ、コレ故訓バカリニテ聖人ノ書ヲ讀バ、唯モツトモナルモノニテ、今日ノ事ニナラヌトアリテ、迂遠ニヤリトオキモノナリ、詰ト云モノニテ聖人ノ書ヲ讀テ、始テ其シカタ見ヘ、今日ノ上ニ施シ用ラル、モノナリ、民ハ上ノ教ヲ受テ行イ、モツトモナルト知レ、ヨキトナリ、君子ハ民ニ教ル教カト、其ヒキマワシヲ知ラ子バナラヌモノナリ、コレ故民ニ示ス所ハ訓ノミニテ、詰ハ君子學士ノヒトリ知ル所ノモノナリ、且ツ詰ハ定リテ傳ルモノニアラス、學ブモノヲシテ其字ノ名ト訓トニ引合セテ、其詰ヲ求メシムルモノナリ、其ワザノ名ト訓トニヒシトアタルヲ以テ、徵トスルモノナリ、コレ故古人ノ傳

ル所ノ詰モ同ジカラザルアリ、其人ノ學力ノ淺深ニヨルナリ、是古ノ詩書ヲ學ブ法ナリ、コレ故名ト訓トノミニテ、詩書ヲ學ブトキハ、何ノ用モ見ヘヌモノニテ、詰ト云モノニテ、始テ事ノカタチ十ノ内ノ二三ガ見ヘルモノナリ、孔叢子コウソウシニ宋ノ樂朝ガクサウガ子思ニ問タルヲアゲテ、詩書ヲ學ブニ、訓ト詰トヲ以スルガ、古ノ學ヒカタナリ、モシ訓詰ヲ以テ學バ、ルトキハ、詩書ハ學ヒ得ラヌモノト云フヲ舉タリ、此孔叢子ノ書ハ、孔氏ノ家子思ヨリ以下、世々仲尼ノ志ヲ繼テ、學文ヲ以テ業トスルヲアグルモノニシテ、他人ヨリ出タルモノニアラス、其家ヨリ出タリ、然レモ其問答ノコトハ、皆膚淺ウツシニシテ見ルニタルモノナシ、唯ソノ聞ツタヘヲアグルノミニテ、舉ル人モ亦其人ニアラザルガ故ナリ、コレハ己カ先

人ヲ文カケルコトナレハ附益エキモアリ減損シモアルハツノイナリ訓ト詰トノ如キハ世間一統イツトウニアルモノナレバコレニ附益スルモ其先人ヲ文ニタラズコレヲ減損スルモ先人ニ損ナキコトナリ故ニカクノ如ノ類ハ却テ昔ヨリ傳タルコトアリノマニ舉テ附益モセズ減損モセヌモノナリ然レ訓詰ヲ以テ詩書ヲ學ハ仲尼子思ヨリ傳テ孔氏ノ家子弟ニ詩書ヲ學バシムル常法ナリ然ルトキハ詩書ヲ學ニ訓ト詰トヲ以スルハ聖人ノ常法ナリ然レ氏訓ト詰トヲ以テ詩書ヲ學ズハ此子弟ノ學ナリコレニテ仁者知者ノ域ニ至ラレルト云ニハアラス仁者知者ノ域ニ至ルハコト上ニ攻ルト思フトノニツヲ以テスルコトナリ故ニ訓詰ハ仁者知者ノ域ニ至ル階梯テイナリ仁者知者ノ域ニ至ル地場ナリ此地場アリテ宮室ハクミタツベシ

故ニ訓詰ヲ守リテ攻ルト思フトヲ以テセザルハ地場ヲ守リテ宮室ノヒトリデニ成ニテ望ガ如シ又攻ルト思フトヲ以テセントシテ訓詰ヲ定メザルハ瓢箪ヒョウタンヲ以テ鯨ヲオサユルガ如シ終ニ得ルコトアタハズ故ニ攻ルト思フトヲ以テスル大人君子ノ學ナリニタ子弟ノ事ニアラス故ニ訓詰先ツ定リテ其上ニテ攻ルト思フトヲ以テスルハ譬ハナヲ繩ヒツバリ定リテ宮室ヲクミタツルガ如シキシクトヨク其ツボニハマリテ揺コトナシ此レ學ヲスルノ道訓ト詰ト攻ルト思フト四ツノモノハ廢スベカラザルユエンナリ地場ヲ守リテ宮室ノヒトリデニ成ニテ望ハ戰國之雜儒ヨリ漢ニ至ルニテノ蔽ナリ瓢箪ヲ以テ鯨ヲオサユルガ如ハ孟荀以下宋儒ノ蔽ナリ凡文字ニ名ト訓ト詰トアリ其名ト訓トニヨツテ其詰ヲ

攻其詰ヲ思フテ、コレヲ已ニ徹識スル、是小物ヲ致ナリ、凡礼樂教化  
 制度事業ニモ、亦名ト辯ト事行トアル、文字ニ名ト訓ト詰トアルガ如シ  
 フノ名ト辯トニヨツテ、其事ヲ攻、其行ヲ思フテ、コレヲ已ニ徹識スル、  
 是大物ヲ致ナリ、故ニ古ノ學ヲスルノ道、先ツ小物ヲ致テ、次第ニ  
 大物ヲ致ナリ、故ニ仁者知者ノ言ハ、大ハイヨク大ニシテ實ナリ、小ハイ  
 ヨク小ニシテ實ナリ、コレ學ヒカタニ等級アツテ、其等級ヲ越ズ、其  
 次第ニツイテコレヲ攻テユキ、コレヲ思フテユクガ故ナリ、故ニ聖人ノ  
 學、虚遠ニ驅ルノ病ナキナリ、戰國以來ノ學者ハ、此實地ヲ知ル  
 アタハズ、唯虚遠ニ趣ノミナリ、夫文字ヲ學ブニ唯名ト訓トノミニテ  
 コレヲ覺テ、詰ヲ攻詰ヲ思フテコレヲ得ザレバ、虚浮迂遠ニ免レズ、  
ワラウシマワリドク

礼樂教化制度事業ヲ學ブニ、唯名ト辯トヲ學ヒテ、事行ヲ攻事行ヲ  
 思フテコレヲ得サレハ、虚浮迂遠ヲ免ル、コレヲ得ズ、今日ノ實地實用ニ  
 ハ、已甚トヲキモノナリ、然ルニ戰國以來儒者ノ架黠ナル者ハ、訓詰ヲ以  
 テ子弟ノ學トシテ、コレヲ蔑視シ、名ヤラ訓ヤラカマハズ、鹵莽ニ唯覺  
 ヲルノミ、イマダ虚浮迂遠ノ沙汰ニモ及ザルナリ、其第一ノ學トシ、  
 所ノ礼樂教化制度事業モ、唯名ト辯トノミヲ覺テ、其事行ヲ攻思フ  
 ヲ知ラサレバ、虚浮迂遠ヲ免ル、コレヲアタハズ、已モ亦今日ノ實地實用ニ  
 甚遠コトヲ知リ、更高言木語ヲナシテ人ヲ敬馬憚シ、人ト已トラ欺テ始  
 自ラ好トスルノミ、小物既ニ致ズ、大物ハ致コトヲ知ラズ、何ヲ以テ徳ヲ成ン  
 ヤ、イヨクコレヲ爲バイヨク虚遠ナルユヘナリ、又其愚弱ナル者ハ、聖人  
コニスケ

人ノ詩書ヲ教ル必訓詁ヲ以テスルヲ聞キ訓詁ノ何モノタルヲ  
辨セズ唯字ノ名ト訓トヲ以テ合シテコレヲ訓詁ト云ト大推量ニ心  
得テ用ニアタルモアタラザルモ心ツカズ一概ニ此名ト訓トヲ守リテ是聖  
人ノ學法ナリト思ヘリ終ニ己ガスル所ノモノハ聖人ノ道ニライテ民  
ニ示スノ外ナキヲ知ラズ而ソ己レ自ラ大人君子ノ學ヲ得タリト  
シテ其身ハイマダ郷人ノ愚陋ナル者ヲ免レズ是他ノ故ナシ學法  
ルノ道ヲ得ザルガ故ナリ曰此ニツク者ハ何ヲ以テカ但名ト訓トニ  
ヲ知テ所謂詁ト云モノヲ知ラザルヤ曰コレニ段々ノ譯アリ所謂名ト  
訓トハ是聖人ノ傳テ人民ニ教ルモノナリ故ニ六經ト云ヨリ以下諸子  
百家ノ書ニ皆アラハシツタヘタリ人々書ヲ讀人ハ皆見テ知ル所

ナリ彼二道ノ儒者ハヲナメニラシテコレヲ訓詁ト云ナリ所謂詁  
ト云モノ有コトヲバ夢ニモ心ツカズ所謂詁ト云モノ人々ノ自ラ求メテ  
コレヲ得ルハツノモノニテ傳テ庶民ノ教トスルモノニアラズ故ニ六經以下  
諸子百家ノ書ニモアラハシ載タルヲ甚希ナリ然レモ時ニ詁ヲ擧タ  
ルヲアレモ甚希ナルヲナリ然レモ深求ムルトキハ歴然ト分レタルヲ  
彼二道ノ儒ハヲナメニ心得テコレニテ濟タルトヲトシツケテ居テ深  
求ムル心ナキ故目前ニアラハレアルヲ時々ニハアレ的然トシテ惺悟スルヲ  
アタハザルナリ何トナレバ彼二道ノ儒ハ聖人ノ傳テ人民ニ教ル名ト訓  
トニテ事スミタルト覺テ古ノ人ノ傳ル所ヲ守ルヲセイサイトシテ自  
ラ求ムルト云フヲ知ラザル故ナリ古ノ人ノ傳ル所ヲ守リテセイサイノフト

スル、史官ノ人トナリ、大人君子ノ學ハ、自ら求メテ古ノ人トナリ、古ノ人  
ヲスル、是大人君子ノ地ナリ、己モ亦古ノ人ノ傳ザル所ヲ以テコレヲ己ニ得  
テ古ノ人ノ傳テ人、民ニ教ル所ヲ教ルノミ、是古ノ人トナリ、古ノ人ヲスルナ  
然レモ彼二道ノ儒モ、名ト訓トニテ事濟タリトハスレモ、其實本心ニコ  
レニテ事スミタリトスルニハアラス、自身手ニギリスルコトナラヌ故、唯イワレ  
ヌコトアリトカレヌコトアリトシテ、其マ、オサツケテ置テ、自ら己ヲ欺  
テ、亦人ヲ欺タルノミ、古今ノ書ヲアラス人、其外注解ヲスルモノミ  
ナ此場所ニヲルコトナリ、曰彼二道ノ儒、何ヲ以テカ此病ニ坐スル、曰  
コレニツノワケアリ、一ツハ聖人ノ言ヲ信スルコトアタハザルナリ、一ツハ己レ  
ナスコトアルノ志ナキナリ、一ツハ自ら己レガ小智ヲ足リトシテ、而メ

己レガ小智ヲ外ニシテ、彼大智ヲ求ルコトアタハザルナリ、夫聖人ノ教ヲ  
制シ道ヲ建ル、曰是千萬世行ハルモノナリ、是千萬世ナルモノナリ、是  
千萬世ノ人皆行ハ子ハナラヌ道ナリト、此ノ如クニシテ聖人コレヲ己ニ  
ナシ己ニ行フテ、天下後世ノ人ニモ、此ノ如ク己ニナシ己ニ行ヘト示スモノナリ、  
コレ聖人ノ常道ナリ、然レバ千萬世行ハルノハツノモノニテ、千萬世ナルモノ  
ノモノナリ、若行ハレズナラヌコトヲ、人ヲ勸ルタメバカリニ云コトナレバ、聖人  
モ是談義僧ナリ、貴ブニタラズ、然レモコレニマタ譯アリ、聖人一ツノ教ヲ  
建テコレヲ行フトキ、必ず名ト言ト行トニツノモノヲ具シテクミタツ  
ルモノナリ、一ツノ事ヲ制シテコレヲナストキハ、必ず名ト辯ト事トニツ  
ノ者ヲ具シテクミ建ルモノナリ、其教既ニスミ、其事既ニ成トキハ、



コレヲ書タテテ訓トナシコレヲ天下ト千萬世トニ傳ルモノナリ訓トハ訓  
詰ノ訓ニハアラズ訓トハ其名ト言辭ト事行トラスベテコレヲ和合  
シコレガ辭ツルモノナリ其コトバ人ヲ勸人ヲ畏シメ人ノ心得ト  
ナルヤウニ云モノナリ萬民ハ此訓ヲキ人々ニ善ニ勸人々ニ惡ヲ才  
ツ其大要ノ所ヲ心得テ其大要ヲ踏<sup>フミ</sup>チガヘヌヤウニサスルモノナリ  
學士大夫ハ此訓ニツイテ其名ヲ分<sup>カ</sup>其言ヲ別<sup>カ</sup>其行ヲ分テコレヲ  
行フシカタヲ得ルナリ又此訓ニツイテ其名ヲ分其辭ヲ別其事ヲ  
分コレヲ爲<sup>ナ</sup>シカタヲ得ルナリ大人君子其名言行ヲ得又其名辭  
事ヲ得テコレガ教ヲ建テコレガ事ヲ制スルハ己レ獨リ知ル所ナリ  
既ニコレガ教ヲ建テコレヲ成就シ又コレガ事ヲ制シテコレヲ成就シ

出シテコレヲ庶民ニ教ル所ノ言ト辭ト又此訓ノコトバヲ失ヌヤウニ  
スルモノナリ故ニ教ヲ建事ヲ制シコレヲ庶民ニ教ル所ノ言ト辭ト  
此書ニ載タル訓ノコトバトハ一様ノモノナリ故ニカノ詩書易春秋論語  
ノ書ハ其コトバハ皆訓也訓ノ内ニ名アリフノ中庸ト大學トハイマダ此  
義ヲ失ヌモノナリ此聖經ノ次也故ニ學士大夫カノ詩書易春秋  
論語ノ書ヲ學ズバ其コトバノ訓ト名トニツイテ深クコレヲ攻深クコ  
レヲ思フテ其名言行ヲ分テコレヲ得又其名辭事ヲ分テコレヲ得  
而ノ後ニマタ其訓ニツイテ人民ニ教ル所ノ言辭ヲ知リ得ベシ此聖  
人ノ學子法ニシテ學子シテ徳ヲナスノシカタナリ若コノ訓ノミヲ守リ深  
ク攻テ名言行ヲ得ルコトヲセズ深ク思フテ名辭事ヲ得ルコトヲセ

ザレ、百年聖人ノ書ヲ學ブトモ、何ノ徳何ノ事ヲカ成就スルコトヲ  
 得ンヤ、其人ノ生レ得タル人ガラノ上ヘ、訓誡ノ語ヲ覺ヘタルハカリ  
 一ナリ、是ヲ以テ彼二道ノ儒ソノ<sup>タキ</sup>弊黷ナルモノハ、聖人ノ書ノ訓ナ  
 ルコトヲ知ラズシテ、深ク攻ルコトモセズ、深ク思フコトモセズ、<sup>サテ</sup>草々ト一目ニ見  
 ワタシ料簡ヲツケルヤウハ、聖人ノ言ニ是千萬世行ハルモノナリコ  
 レ千萬世セラル、モノナリ、是千萬世ノ人皆マサニ行ズキコトナリト  
 云ハ、是聖人ノ常教ニシテ、オサダマリノ<sup>クチ</sup>コクセノヤウナルモノナリコ  
 トクク此ノ如クニセラル、モノニテハナシ、其内ナルコトハ取り、其オサザル  
 コトモヤハリカヤウニ心得テオルガ、聖人ヲ學ブシカタナリト思ヘリ、  
 コレ必シモナキコト云ニモアラズ、聖人書ヲ<sup>ツクリ</sup>作テ後世ニノコス、

其天下萬世ノ萬民ヲ待<sup>ツ</sup>ハ此心得モ有ヘキコトナリ、學士大夫ヲ待本  
 意ニアラズ、學士大夫ニシテコト心得アルハ、タ、其身ノ鄙固下劣  
 ノ<sup>ニ</sup>ニアラズ、大矣ニ聖人ノ道ヲ賊スルモノナリ、且ツ己レ學士大夫ニ  
 シテ、民徳ノ場ニヨリ、揚々然トシテ自得スルハ、恥ベキコトニアラズヤ、  
 ニカシナガラ天下萬世ノ萬民、聖人ノ道ハモツトモナルモノニシテ、行ハ  
 ルコトニアラズト云シムルハ、此<sup>テ</sup>學士大夫ノ罪ナリ、故曰聖人ノ道ヲ  
 賊スルノ大矣ナルモノナリトコレガ爲<sup>タ</sup>ノ故ナリ、是己ハ聖人ノ言ヲ信  
 シタルツモリナレ、其智ノ小ナル故、聖人之言ヲ信スルコトアハザル  
 場ニ處コトナリ、此ノ如ク儒ナルモノハ、聖人ノ言ヲ見テ己ガ智カノ  
 淺小ニシテ、トビキ及ビガタキコトヲ知ラズ、己ガウヘノ料簡ニテ、  
 己ガ智カノ淺小ニシテ、トビキ及ビガタキコトヲ知ラズ、己ガウヘノ料簡ニテ、  
 己ガ智カノ淺小ニシテ、トビキ及ビガタキコトヲ知ラズ、己ガウヘノ料簡ニテ、

ヲ定テ、古ノ時ハ人モ易直ニ民モ敦厚故カヤウナルコトニテモユキタルコトナリ、今日ノ世ハ人モ悪ク民モ薄ク、諸事澆季ナレバ、中々カヤウナドモテハユカヌコトナリト云コレ已ガ智ヲ以テ聖人ノ智ニ比スルコトシテコレヲ輕視シ、己ガ下ニ出ル鄙固庸陋ノ者ノゴトトスルナリ、是己ガ料簡ハ、聖人ヲ下ニ視テ卑小ナリトスル心ハナクレ、凡己ガ短小ノ智ヲ以テ自ラ足リトシテ、ソレヨリワキヲマ見ザル故覺不知ズ、聖人ノ智ヲ下ニ視テ卑小ナリトスル過ニオチイルナリ、何ヲ以テカ己ガ智ノ短小ナルヲ知コトアタハザルヤ、又何ノ故ニカ聖人ノ智ノ遠大ナルヲ見ルコトアタハザルヤ、曰コレ他故ナシ、其人實心爲コトアラント欲スルノ志ナキ故ナリ、凡人至心ニ爲コト有ニト欲スル

ノ志切ナルトキハ、己ガ智力ノ爲トコロヲ推テ此ト此トハハツキリトテキルコト云コトヲ知、又此ト此トハハツキリトシトリシメテ、執ヘドコロナキコトヲ覺テ、己ガ出来又所ト云コトヲ知モノナリ、於是聖人仁智ノシワザヲ見レバ、口ニハイハルレ、心ニハ何ヤラ、慊又所アリテ、推テ見レバ、茫然トシテトラマヘラレ、又所アルモノナリ、於是切ニ聖人仁智ノシワザヲ攻テ、其根本マデ尋探シテ、己ガ肺腑ニシテザルウチ、止ズ、弃ラカズ、又切ニ聖人仁智ノ思慮ノ極ヲ思案工夫シ、己ガ肺腑ヘヲテザルウチハ止ズ、弃ラカズ、此ノ如スル寸ハ、吾心中累塊サラリト解テ、聖人仁智ノシワザト、其思慮ノ極所ト、吾心目ノ前ニ瞭然タルモノナリ、於是始ノロニイワレト思フコトヲ及顧スレバ、皆浮虚無

淨氣清心、一、

根ノフニテ用ニタツ所一ツモナク始ノ心ニ慊アキカラヌヤウニシテ茫然ト執トシラレ  
 又モノ今皆實用實地トナル其丈夫ナル一般イソ石ニ根ヲツケタルガ  
 如ク我ワガ得ル所ヲ聖人仁智ニ比ヒテ見テモ少シモ疑ウタガハシ心ナキモノナリ於  
 是子孟荀以下ノ言所ノモノ皆始ノ口ニハハルレ心ニハ何ヤラ慊又所ア  
 ツテ茫然トシテトラマラレ又所ノ場ニテ云フノ見ヘル一鏡ニカケテ  
 物ヲ見ルヨリ明ナリ於是諸家ノ説ヲ見レバ水上ノ萍草ヒヨウソウノ風  
 ニモマレテ東西ニサウグガゴトシ色々理屈ノチガイハアレ氏皆五十步  
 逃ヒテ百步北ニタルモノヲ笑ノ論ナリ郭ノ外ニイテ郭ノ内ヲ論ズルコト  
 故其論ノアタルトアタラザルト皆實用ニアタラザルナリ於是始メ  
 テ聖人ノ智ノ遠大ナルヲ知モノナリ故聖人ノ智ノ遠大ナル

一ヲ見ント欲スル寸ハ堅ク聖人之言ヲ信スルヨリ近キハナシ堅ク聖  
 人ノ言ヲ信スルトハ先フ二病ヲ去テ一信ニスルヲナリ一病ハ聖人ノ  
 言ニ是千萬世行ハルヲナリ是千萬世セラルヲナリ是千萬世ノ  
 人マサニ行ベキヲナリト云ハ是聖人之常教ナリヲサダメリ口ク  
 セノヤウナルモノニテ盡コトクカヤウニセラルモノニアラス唯ツノ内ノナル  
 フヲ取ナラザルヲモタバカヤウニ心得テアルガ聖人ヲ學ブイタシカ  
 タナリト云ハ此一ツノ大病ナリ又一病ハ聖人之言ヲ見テ己レ智カノ  
 及ザル所ハ必ズコレニ理屈ヲツケテ古ノ時ハ人モ易直ニ民モ敦厚アツシ  
 故ニカヤウノ一ニテモユキタルヲナリ今ノ世ハ人モ惡ク民モ薄ク諸  
 事ギヨウキ澆ヨノスエチニ及ヌレバ中々カヨウナラドモニテハユカヌ一ナリト云コレ

亦一ツノ大病ナリ先ツ此ニツノ大病ヲ去ニアラガレ、堅ク聖人ノ言ヲ  
 信スルコトナリガタキナリ一信ニスワルト、聖人之言ニ是千萬世行  
 ハルコトナリト云トキハ、是決定千萬世行ハル、ハツノコトナリ、聖人ハ行ハ  
 レヌコトハ行ハル、トハ云ヌハツノモノナリ、然ルニ今行ハレヌヤウニ見ユル、吾  
 智力ノト、カザル故、見ルコトアタハズ、行ハレヌヤウニ思フコトナリ、是千萬  
 世セラレ、コトナリト云トキハ、是決定セラレ、ハツノコトナリ、聖人ハセ  
 ラレヌコトヲセラレ、トハイワヌハツノモノナリ、是千萬世ノ人ノ行ハ子バ  
 ナラヌコトナリト云トキハ、是決定人々行ハ子バナラヌコト思フヤウニイタシカ  
 タアルハツナリ、然ルニ行ハ子トモ害ナキヤウニ見ユル、我智力ガト、カ又  
 故ニ人々行ハ子バナラヌヤウニ思ハスル致カタガ見ヘヌ故ナリ、聖人

之言ニ虚ハナケレ、我智力ガ虚ナル故、聖人之言ガ虚ナルヤウニ見  
 ユルナリト、此信ニ腰ヲ居テ切ニ攻切ニ思案工夫シテ、其實地實用ノ  
 己ガ肺腑ニヲチツクマデ、是非トモコレヲ攻コレヲ思案工夫スルナリ、若  
 ステニ切ニ攻切ニ思案工夫シテモ、ヤハリ行ハレズ為レヌコト見エ、人々行ハ子  
 バナラヌコト思フヤウニナキハ、コレ決定行ハレズセラレヌコト見エ、人々行  
 ハ子トモ害ナキコトニアラズ、我が攻所ガ違、我が思案工夫スル所ガ違  
 タルモノナリソレ故行ハレズセラレヌコト見エ、又人々行ハ子トモ害ナキコ  
 ト思ハルナリト、又信ヲ欺ニ堅テ是非トモ行ハレ為レテ、人々行ハ子バナラ  
 ヌコト思ハスル致カタノ實地實用マテ、漕ツケ子バ措ス止ズコレヲ一信  
 ニスハルト云ナリ、夫聖人之書、詩書易春秋論語ハ皆訓ト名ナリ、

其文字ハ皆亦訓ト名トナリ、聖人ノ書ハ其訓ト名トニツイテコトヲ攻コ  
レラ思フテ其名言行ヲ得ルモノナリ、又其訓ト名トニツイテ其名辭事  
ヲ得ルモノナリ、文字ハ其訓ト名トニツイテ其詰ヲ求ムルモノナリ、凡訓  
名ト云、又名言行ト云、ハ、タト、バ論語ノ慎終追遠ノ章ノ如シ、慎終ト  
ハ、喪ノイナリ、追遠トハ、祭ノイナリ、直チニ慎喪祭トイハズシテ、慎終追遠  
ト云、即訓ト云モノナリ、又慎終追遠則民德歸厚ト云ベキニ、則ノ字ヲ  
云ガルモ、亦訓ト云モノナリ、訓トハ、教トナルヤウニ事ヲ云ノ名ナリ、其内ニ  
喪祭ト云フノコモルヤウニ云ガ、即名ノ其中ニ在ト云モノナリ、名言行ハ  
教ヲ制スルカタニテ云ナリ、其名ト云ハ、コ、ニテイハ、喪ト云ハ、存ト云ハ、日喪、今  
マデコ、ニ存シテヨリシモノガ、今ハ、然ト有コトナキナリ、コレト云ハ、所ナク

悲哀スベキノイナリ、又喪ハ其人一世ノ終ナレバ、何カラ何マデモ心ヲツケ  
行トクヤウニスベキハ、ツノイナリ、然レハ喪ノイハ、悲哀ヲ以テ本トシテ、其  
事ハ親切ニ厚トリハカラズキイナリ、此ニツノモノガ喪ト云名ノ義ナ  
リ、コレヲ得ヲ得ルト云ナリ、行トハ、此喪ト云名ノ意ヲヨクノミコミソノ  
人情トソノ外ノイヘノウツロイトヲ得テ、コノ喪ニツイテ行イカタヲ制シテ、  
人民ニ行ハシメ、人民ハタゞ其喪ノイヲ行フトノミ心得テ、コレヲ行フテ、  
内ハ父子ノ間モアツクナリ、上ハ君臣ノ道モアツクナリ、外ハ他人ヘ  
行フ所モアツクナリテ、其ウツリニテ人ノ礼ヲイハ、又所ニ心ガトゞキ人ノ  
見ヌ所ニ行トゞイテアルヤウニ、人民ノ風ガナルヤウニ行イカタヲ制  
シ、其制シカタハ、悲哀ヲ本トシテ、其事ハ親切ニ厚スルシカタヲ以テ

人々コレヲ心得ルヤウニスル致カタヲ得ルヲ喪ノ行ヲ得ルト云ナリ、  
此喪ト云名ノワケト、今制シタル所ノ行イカタトワケトラ明ニシテコレ  
ヲ人民ニ教ヘヌコレヲ人民ニ號令ス、タトヘハ親ヲツマツニスルハ君ヲツ  
マツニスルノ心ヲ伏藏スルノシルシトシ、兄ヲツマツニスルハ長ヲツマツニス  
ルノ心ヲ已ヨリ人ニアラハスモノトシ、死者ヘソマツニアイシラフハ人ノ礼セ  
ガル所ニシヨサイヲシ、行トカザル行ヲスルモノナリトシ上コレヲ以テ  
其信ヲナシ下コレヲ以テ人ヲ指サスヤウニ教ヘ號令スルガ喪ノ言  
ヲ得ルト云モノナリ、此名言行ヲ得ルハ先ツ其本文ノ意思ヲトクト會  
得シソレヨリワリ出シテコレヲ得ルモノナリ、而シテ聖人ノ書ハ皆訓ニ  
シテ象ナリ、我が得ル所ノモノハ皆ワザニシテ形ナリ、然ルニ我が得ルト  
コノワザニシテ形ナルモノヲ以テ聖人ノ書ノ訓ニシテ象ナルモノニ

引合スル、此ニツノモノニニシテ一ヒシト合テニツナキモノトナルハ、我ヨ  
ク聖人ノ書ヲ讀ムルナリ、若シニテモ合ズ、穩ナラヌ所アルハ、イマダ聖  
人ノ書ヲ善讀フアタハザルナリ、故ニ名言行ヲ得ント欲スル寸ハ先ツ  
聖人ノ書ノ本文ヲトクト會得シ、其言所ノ人ノ態度ヲ見ルガ如シ  
又其言辭ノ表裡緩急ヲ思イトリ、又其言所ノ本意ノ在所ヲ已ガ  
肺腑ニヲトシツケ、既ニトクトソコズミシタル上ヲステ措ズ、又再往モ  
三往モコレヲウチ及シ、己ガ身心ヲ其本文ニハナレヌヤウニスルトキハ、  
ノ本文己ガ身心トナリテ、其本文己ガ肺腑ヨリ出タルヤウニナルモノ  
ナリ、既ニ其本文己ガ肺腑ヨリ出タルヤウニナリテ、其上ニテ

コレヲ思案工夫シテ其名言行ヲ求ルトキハ必ず其名言行得テ  
 本文トニシテ一ニシニナルモノナリ又聖人ノ書ノ本文ヲトクト  
 會得シ其言トコロノ人ノ態度ヲ見ルガ如シ又其言辭ノ表裡緩急  
 ヲ思トリ又其言所ノ本意ノ在所ヲ己ガ肺腑ニラトシツケルヤウニセ  
 トスルハ先ツ其文字ノ訓ト名トツイテ名詁ト字詁トヲ求ヘシ何ヲ  
 カ名詁ト言ヤ曰天ハ一天ナリコレヲ昊天ト稱シ旻天ト稱シ皇天ト稱  
 シ上天ト稱シ蒼天ト稱シ上帝ト稱シ單ニ天ト稱スルガ如シ君ハ一君ナ  
 リ后ト云辟ト云君ト云ガ如シ我ハ一我ナリ朕ト云予ト云台ト云我ト云  
 吾ト云ガ如シ汝ハ一汝ナリ爾ト云汝ト云乃ト云ガ如シ施ス所各異ナリ  
 其名スズニ異トキハ用ル所ノコトハモ異モノニテ人ノシラザニカケル所モ

同シカラザルモノナリ此ノ如ク類甚多シコレヲ名詁ト云ナリ何ヲカ字詁  
 ト云ヤ曰字詁ハ途ニアズ其別大抵七道アリ一ヲ正詁トス二ヲ諧詁ト  
 ス三ヲ轉詁トス四ヲ傍詁トス五ヲ釋詁トス六ヲ聲詁トス七ヲ會意  
 之詁トス正詁トハ條理曰治理亂曰亂義爲曰又居敬曰欽ト云  
 ノ類ナリ是字ノ本詁ナリ然レモコレ甚求メ難モノナリ其字ノ爲  
 至テ別レ難手ニトリ難モノハ此正詁ヲ求テコレヲ定コレ書ヲ解ス  
 ル内十ノ中二ニテ此法ヲ以テ解スルモノナリコレ學文中ノ小物ナリ  
 然レモコレヲ得レバ大用ヲナスモノナリ故ニ間暇無事ナラバニ常  
 ニコレヲ求ベシコレ古人ノ學法ナリ諧詁トハ諧聲ヨリ出ル詁ナリ  
 タトハ於乎曰都之於曰諸ト云ノ類ナリ轉詁トハ其字別レテ詁



ツテ其正詁ヨリ轉ジ来ルモノナリ、其正詁ヲフマヘテコレヲ解スルモノナ  
リ、逆者彼来而我出、而迎之也ト云、凝者成而定也、宅者其所居  
之處也、明者舉之於人之上也ト云、ルイ也、傍詁トハワキノモノニヨセ  
ノヘテ此義ヲ明ニスルナリ、明者嚴明也、来者来集也、圖圖域  
也ト云類也、釋詁トハ必シモ其字ノ正詁ヲ求ズシテ、其實用ヲ得  
ベキモノ、其實用ニ循テコレヲ解ス、濬者深、於底也、錫者以礼賜之  
也、率者依循而不離也、昭者一一而明之也ト云類也、此ノ如ノ類必正  
詁ヲ求テコレヲ解セントスルハ皆愚ノ至ナリ、實用ステニ斯ニツクル  
者ナリ、聲詁トハ聲ノ輕重ニヨツテコレヲ解スルモノナリ、俞者唯之温也、  
阿者俞之和也、厥者其聲之重也、弗者不聲之急也、罔者莫聲

之緩ト云類、皆聲ノ輕重ニヨツテ、其義異モノナリ、會意ノ詁トハ  
如心爲怒、心爲性、言莫爲謨、心爲恭、中心爲忠、示己爲  
祀ト云類ナリ、凡會意之詁ハ必シモ其字義コトニ盡ルニハアラズ、コレヲ  
以テ其字ノ正詁ニソエテコレヲ解スルナリ、解シヤウ善ラサレ、及ツテ  
笑ヲ取ナリ、以上七道ノ字詁ハ、ミナ其字ノ訓ト名トニ引合セテク  
ヒチガハザルヤウニシテコレヲツケルナリ、此七道ノ詁ノ内ニテハ、正詁ヲ重  
トス、聲詁ヲ其次トスルモノナリ、凡字詁ヲ求ルノ本意ハ、今讀所ノ  
書ト我身ト離テニツトナリ、ウハスベリシテ餘所ノイラキクヤウニナリト  
リシメラレヌモノナリ、ソレヲヒシト我身ト一トナツテニナラズ、一ツクニ實地ニア  
タリ、實用トナルヤウニスル爲ニコレヲ求ルモノナリ、然ラザルトキハ、訓名

トニテ書ヲ讀ト同ジクニテヤリ虚遠ニラツルモノナリ然レモ此名語字  
詰ニツノ内ニテハ名語ヲ大物トシ字語ヲ小物トスルナリ名語ハ上ニ  
説所ノ如シ天道天命天威天畏天衷ノ如キ東西南北方朔ノ如キ陰  
陽五行三材ノ如キ四海四國四方天下國家ノ如キ甸侯綏要荒ノ如  
キ公侯伯子男ノ如キ度制法禁刑令ノ如キ其五典五教五常五倫ノ  
如キ二正五品ノ如キ仁智勇ノ如キ仁義道德ノ如キ忠恕信温良儉  
恭讓ノ如キ聰睿寬明敏惠ノ如キ直剛強ノ如キコレヲノルイヲ求テ我  
身トトナツテニナラズ一ツクニ實地ニアタリ實用トナルヤウニスルヲ名語  
攻ルト云ナリ此字語名語ハ古人ノ所謂格物中ノ小物ナリコレ小物トイ  
ヘドモ格物ノ道ニライテ始モ終リモコレヲ再ルテアタハザルモノナリ格

物トハ格トハ感格シテコレヲキタスナリ物トハ我先王ノ書ニツイテ深クコレ  
攻ルノイタリ深コレヲ思索工夫スルアマリ先王ノ道ノシカタ一物トナリ  
然トシテ我心ノ上へ感得セラルモノナリ此格物ニ數層アリ今マサニ  
格物ノシカタヲ一ツニツ明サントス凡格物ノシカタハ先ツ易キモノヲキタ  
スニ故ニツノ元ヨリ形アルモノヲ攻ベシ元ヨリ形アル物トハ五典ノ如キ父ノ  
義ハ彼ガスル所コノ義ニアタル此ガ行フ所コノ義ニアタル我見ル所聞  
所ニテ四五條ヲ得テ本書ノ義ト引合セ本書ノ義ト云モノ手ニ入  
テ變化ノデキルホドニシ母ノ慈ハ此スル所慈ニアタル亦我見ル所  
聞所ニテ四五條ヲ得テ本書ノ慈ト引合セ本書ノ慈ト云モノ手ニ  
入テ變化ノデキルホドニシテ而シテ後ニコシテオクナリ兄ノ友弟ノ恭

子ノ孝モ皆カクノ如ク攻テ而ノ後五典ト云典ノ名ニ引合セ五ツノ者典ト云  
名ニヒシトアタルヤウニシテ而ノ後ニコレヲオクナリ又五教ノ如ク孝弟友慈  
義ノ五ツノ者孝ノ一途ニ歸スルヤウニシテコレヲオクナリ又五常ノ如ク五  
ツノモノ、常ト云名ニヒシトアタルヤウニシテ而ノ後ニコレヲオク、又五倫ノ  
ゴトキ、五ツノモノ、倫ト云名ニヒシトアタルヤウニシテ而ノ後ニコレヲオクナ  
リ其他官事ノ教ハ天事ニ代ルトナルヤウニシ民事ノ教ハ天事ヲ承  
トナルヤウニシ、百物ノ教ハ天物トナルヤウニシテコレヲオクナリ、此等皆  
教ト云モノナリ、又五品ノゴトキハ百礼ノ本ナリ、五典ノ品級ナリ、故ニ五品  
ハ教ニ屬シ又礼ニ屬スルモノニテ形ヲ立テ教ルモノナリ、故ニ其形ヲ  
論ニシテ上五典ニ應シ下百礼ニ本トナルヤウニ其形ニ熟シ而ノ後コレ

ヲオクベシ凡礼者禘ノ礼嘗ノ礼蒸ノ礼禘ノ礼祠ノ礼ノ如キ郊ノ礼社  
ノ礼山川ノ礼雩ノ礼ノ如キ、特牲ノ礼少牢ノ礼大牢ノ礼喪礼喪服礼冠  
礼昏礼相見ノ礼ノ類、養老ノ礼養齒ノ礼大射ノ礼合樂ノ礼鄉射ノ  
礼鄉飲酒ノ礼饗礼燕礼食礼舉子ノ礼、又冊命ノ礼聘礼覲礼會礼  
族燕ノ礼ノ類、蒐ノ礼治兵振旅ノ礼ノ如キ、苗狩ノ礼ノ類、其他類禮ノ礼  
釋幣釋菜ノ礼踐祚ノ礼即位ノ礼朝正ノ礼告朔ノ礼、又八日食ノ礼  
水旱ノ礼、又望秩ノ礼巡守ノ礼、凡コノ衆礼ハ皆形ヲ以テ教ルモノナリ、故  
ニ其形ヲ論ニシ其形ニ熟シテ而ノ後ニコレヲオクベシ、其樂ノ物ヲ致モ此  
道ヲ以シ制度教化事業ミナ然リ、思テ以テコレヲ聚メ、攻テ以テコレヲ已  
ニ致シ其形ヲ論ニシテ其コトヲ熟シテコレヲオクベシ

孔子曰、生而知之者、上也、學而知之者、次也、困而學之、又其次也、困而不學、民斯爲下也、凡士大夫、ヨリ庶人ノ世ニ在ハ、必ず知子バナラズ、知バゼヒセ子バナラ又所アリ、石瓦ノ如ニ、イキ落落々、イキ璩々トシテ、イキ弁ルベキニテモナク、又雞犬ノ如ニ、口腹ヲ養テ生息シテ、イキグシ處バヨイト云ニテモナシ、草木ト同ク成立シテ、イキ枯槁ニルニテモナシ、然レバ人者、萬物之靈ニシテ、天地ノ間ニ生ズルモノ、千萬ノ物アル中ニテ、イキ最モ第一ニ尊ク不測ナルモノ、皆人々我ト知トコロナリ、然ルニ士大夫ヨリ庶人、何ノワケアリテ、萬物ノ靈ナルヲ知ズシテ、徒然トシテ一生ヲ大過、又迷惑シ、イキ狼狽シテ、犬馬ニテモナキニ、イキ犬馬ニ效テ身ヲ終リ、又美味美服、イキ美色ニ身ヲ墜イレ、イキ黙々タルコト、イキ犧牛ノ如ク、手ヲ束子テ死ヲ待シ、イキ夫孔子ノ之トサ

シタモフハ何ゾト云ニ、人間タルモノ、貴キモ卑キモ知子バナラ又事アリ、行ハ子バナラ又道アリ、故ニ生ニシテ、イキ而ノ之ヲ知トハ、人トノ耳目鼻口及ヒ手足動キ、己カ心ノヤウニ用レテ、イキ志モスエラレルトキニナリテ、身ハ父子兄弟、妻子眷屬ノ内ニ於シテ、イキ萬事ヲ行ヒ、萬物ヲ用テ、其見ル所、其聞トコロノ言トコロ、其動トコロ、イキ萬物萬事ニ觸ルニツイテ、コレニ此道アルベシ、此事此物ハコウナスベシト、イキ萬物ヲ用イ、萬事ヲ行フ上ニ、道ヤ教ヤ礼ガアルコトヲ自然ト知テ、人ノ貴キハコレヲ行フニヨリテト云フ、イキ吾ト徹識シテ、人モ爲ベキコトヲ知ナリ、故ニイキ舜ノ如キ身卑下ニアリテモ、教ハ明ニ身ニ得テアリテ、イキ堯ノ假ス所ナリ、事ニ至テ、未知、故ニ任ノコレヲ觀シテ、イキ欲ス我其試哉ト、其ノ字ヲ以テシテ、コレカ事ヲ以テスルヲ明スナリ、サテノノ生ニシテ、イキ知カナラ

淨齋學小引 卷之二 十一

又モノハ古聖人學子ト云モノヲ建テコレニ因テ學子テ知シム然ルニ人日生  
 レテ成長マテ學子テ而ソ之ヲ知ト云コトモセズ然レテ學子バヌトテモ世ニ在  
 テモ事ハ執子ハナラヌサバト云ニナリテサシカリテ手ツカヘサシカヘテ手足  
 モ出ヌヤウナ難義苦勞ニ出合テモ靦然トシテ凡百事カキ亂アリテモコレハ  
 此ハツノコトナリコウシタモノト覺テオルハコレハ民ト云モノニテ元ヨリ人ノ上ニ  
 立ベキニアラズ耒耜ヲ秉テ背ヲ日ニ暴シ無面自ニテ東西ノ別ヲモ知ズシ  
 テ一生ヲ濟モノトスルナリ士大夫ノコトニアラズ此美味アリ此美服アリ  
 此美色アリテ民ヨリ安佚民ヨリ貴テ其徳ナキハ易ニ所謂負且乘ト  
 云モノナリ故士大夫ノ身ハ上ヨリ命シテ此位ヲアタエ此富ヲタモフ此道ヤ  
 教ヤ礼ヲ已ニ行テ人民ニモ行ハルヤウニスベシトナリ曰此貴ニ慮ゾ此

富ヲヤルゾコレヲ資布ニシテ其方ノカノアラフニカギリ道ノタメニツカヘ教タ  
 メ礼ノタメニ用ヨ其方コトハ此方ニ目キシテミルニ此職ヲ云ツテモ中々ツト  
 メカスル人がラニテナシト託セラレ礼セラルトコロ有ナリ然ルニ此貴ヤ富ヤヲ已  
 馬驕ヤ我ノ教教ヲスルタメニ用ルモノゾト心得ルト上ノヲモククトハ大矣ニクイナカ  
 イタル丁ニテサテク案外ノコトナリトテ早々職ガヘヲセラレソウナモノナリ然  
 レトテ此道ト云モノ教ト云モノ礼ト云モノ其イリヲテ知ズシテハ上下トモ  
 ニ手ノ出シヤウナキナリ斯ニ於テ古ノ聖人學子ト云モノヲ建サセラレテコレニテ  
 學子テ徳ヲ脩テ人ヲシテ其徳ヲ成シムルナリ今脩徳ノ一端ヲ擧テ  
 云ニ夫マツ徳ヲ脩ルニハ宗主ヲツ建テクナリ曰本命也コレヲ五典  
 ト云ナリ礼樂度制教化事業ノ物ミナ悉此本命ヲ本トシテ出スモ

ノナリ、其コレヲ我ト物ト對シテキリ出ス所ノ規矩ヲバ仁ト云ナリ、其予  
 ニ在テコレガ本トナル所ノモノヲ德ト云ナリ、故ニ德也者、己レ人トナリテ、  
 人ガラト云トコロニ定リ、内ニシツカリト立トコロアツテ、心ト形トニテ行  
 トコロ爲トコロノ能熟シタルニ云ナリ、德者、聖人之所以感人心之本  
 也、ソレ德ト云モノニハ大小アリ、仁ニハ場ヤイアリ、義ハ仁ニツクモノナ  
 リ、礼ハサシツカエナキニナルナリ、德ト云モノ、仁義礼ノニツクモノ中、  
 何レエモツクモノナリ、ソレハ奈何スルト人心ニ感ズルト云コトヲ知テス  
 ルナリ、礼樂ニテモ五倫ニテモ、又ハ政事ニテモ、人心ニ感ズルト云モノ  
 ニテナケレバ一向ニ行ハレヌモノナリ、コレ琴瑟ノ調子ヲ己ニ知ガ如ク、  
 コレゾト云所ヲ己ニ徹識シテスルナリ、故ニ向ノ方ノミニヲ觀テハユカ

又カラ己ニ此場ヲ知テスルコトナリ、奇妙ナルコト不測ナルコトヲ言ズシテ人  
 情ニ感ズル所ヲ知ベキコトナリ、サテ又コノ調子ヲ知コトハ、何ヲ以スルゾ  
 ト云ニ己ニ自ラ感ズルト云ニテ知コトナリ、若コウ言コトガ上ヨリ出コウ  
 云コトガ上ヨリ来ルナラバ、我心ニドウシテ感ジマイヤウナイコレデ  
 ハ心ニ感ジテヌケラレルモノデナイト云ヲ知ナリ、コウ言所ガ己ニ臍ヲ  
 ノシタル所アツテコレヲ以テ用ニユクコトナリ、然ル上ニテ千萬人へ出セ、  
 千萬人トモニ感ズルナリ、何ヲクミタツルモ、何ヲシタテルモドウシタレハ上  
 下トモニ感ズルゾト云ヲ知テスルコトナリ、コレ先ツ己ニ感ジテソレヲ徹識シ  
 テコレヲ己ノ繩規トスルナリ、仁ニモ義ニモ礼ニモ、此カタヲ以テ脩ルヲ規  
 矩ニスルナリ、コレハ己ニ德ヲ脩タル上ノ規矩調子ナリ、己ガ感得シテ後ニ

音が感得スルモノナリコレ己ニ感ズルコト深ホド人ニモ入コト深ナリ感  
也者得也得也者徹識也己ニナツトクシテ人ヲナツトクサシテツカフコト  
コレが物ヲ合スル一ツツ調子ナリ聖人ノ人心ヲ感スルハ徳ニテ感ズルナ  
レモコレニツノ調子ト云モノアルハ其本ハ一徳ト云モノニアルナリ聖人  
ノ徳ヲ以テ人ノ心ヲ感スルコトノアルモノハ孟子ニ所謂戚々焉ト云モ  
ノニテ己ノ心ニキヤノト思フテ人ニモ戚々焉ニ至シムルナリ故ニ遊山  
觀水ニ出又ハ軍旅ノ艱難ヲナシテモ其他何ニテモ身ノ觸ル所ノ手  
ノサハル所ニナリ以テ感セシムルナリコレハ己ニ脩得テアル所ノ徳ニテ物ヲク  
ミタテ其上一己ニ有トコロノ感ズルコトヲカケテスルナリコレヲ合シテ  
徳ト云ナリ徳ヲ己ニ脩ヲイテコレヲ出シテ使テ用ヲナスコレ徳之本也

徳ト云モノヲ己ニ得テツカフテユク所ノカタト云モノアリ徳者得也己得  
之自外而爲己之物故曰徳也我使人得之於我而我亦以人爲得之  
自外者故曰徳也及其成也我自<sup>ナツク</sup>得於此而人亦自得於此也得ト  
ハ萬事ノコト何レカラモテモコレナリ故ニ得ト己ニアルモチマヘニテ云  
ニハアラス向ヨリ来モノガ己ノモチマヘニナルヲ云ナリコレヲ聖人ハ徳ト  
云ナリワキヨリシテ来ル所ノモノガ我ノモノニナルユヘニ聖人コレヲ貴テ  
徳者得也ト云ナリ己ノモチマヘニアルヲ貴シテコレヲ云ニハアラス故ニ  
唐虞書日ニテハ稽古ト云論語ニテハ學而ヲ第一ニスルコレミナ斯ニアルナ  
リ今尹子文ノ位ニ居位ヲ已ラレテ喜愠ノ色ナキハ取ズシテ舊令尹  
之政必以告新令尹ヲ此トコロヲ孔子ハトリタモフナリ喜愠ノ色ナキ

争論學小  
卷之二  
二十一  
各々園蔵

ハ子文ノ己ノモナマニアル所ニテスルナレバ貴ニタラヌナリサテ又徳ト云モノ  
コレヲ己ニ得テコレヲ物ニホドコシ人ニ與テ物ニホドコセバ施ホド幅ガ廣  
クナリ經ガ長クナリ人ニ與レハアトフルホドテアツクナリフエルモノニテイヨク  
己ノ持マノ家當ハ大イニナルコレ貨粟ノ類トハ反テウラスラニテ己ニ脩得  
テ殖テツカハ用ホト云育ルモノハ外ニ比スベキモノナシ人タルモノ身没スル  
名モナク物モナク體ト俱ニ一時ニ滅スルハモツトモ愧ベキノ至リナリ鳥獸  
ハ死シテモ羽毛ヲ存シ草木ハソノ形ヲ留テ用ヲナス故ニ人タルモノハ  
徳ヲ脩テ其行ヲ存シ其言ヲツトヘルコトラスルハ萬物之靈タル所ニテコ  
レ鳥獸草木ニハ同クスベカラズ土地ヲタモツモ時ニヨリテハ移コトアリ知  
貨財ノルイ月日ニツレテ移易テハ滅スルモノナリ徳バカリ大小ダケニテ千

萬世ニ傳リ天地ニ妃ス故ニ夷狄ニ在テモ陋ナルコトナク火水ニ憂ズ盜  
竊ノ恐ナク身ヲ護ハ百萬ノ雄兵ヨリモ寧ク其威カハ斧鉞ヨリ  
モ人氏コレヲ畏ルナリ又己ニハ自ラ得ト云ニテ自得ト云ナリ向ニモ自得ニ  
ナルナリコノ處ニスワリテアレヲ望コレヲ望ズシテタリタツテアルコレ自得ナ  
リ向ノ人が神明ニヨツテ得タ天道ニヨツテ得タリト思フナリサテコレヲ  
得ルノ方ト云モノアリソレハ彼ヲ成ト云ニテスルナリ彼ヲ成就スル直ニ  
レ己ヲ成就スルナリトスルナリ故ニ彼ヲ成就スル内ニ己ハ成就スルナリ  
曰以成彼爲成己之道而得之於己彼已成則己亦與之成也次ニ徳  
ノ話ト云モノアリ他足曰徳也本是他物今爲己之物而無一分假借  
之地故履食足於其心莫所不慊也其在於人也曰是非他物爲己之



物是非他之事、自己之事、而無一分假借之地、故履食足於其心、莫所不慊也。スベテ徳ト云モノヲ我ニ得ルニ人ニ就テ問タズ子ズシテ予ニ得ルトアルナリ、大學ニ所謂毋自欺也、如惡惡臭、如好好色、此之謂自謙ト云論語ニ不亦說乎ト云、易ノ萃ノ卦ニ有孚不終乃亂乃萃、若號一握爲笑ト云、皆履食足ノ義ナリ、彼ヲナス彼ヲナストシテスル内ニ我ニヒトリテ成コトアルナリ、ソレドウスレバナルゾト己ニ思案工夫スルト得ラル、モノナリ、如好好色ニ我ト予ニ得ルナリ、コレデキニ戚々焉ナリ、胸中ガ洒然トシテ快テ、此場ニルト假借モノニテハナキナリ、故ニコヲ自謙トハヘルナリ、コレハモソツトノ所ガト、カヌト云ハ自欺モノナリ、又人ニホドコス上ニテ、向ノ人ノ受ル場ニテイハ、譬<sup>タ</sup>テ云ニ、一國ノ法ニテ博奕<sup>バク</sup>ハナラヌゾト云トコレハ上ノ法ナリトシ

テノケモノニシテヲイテ、メイ<sup>チ</sup>己ニ荷<sup>チ</sup>ハヌモノナリ、ソレヲ上ヨリ教ト云モノニテ用テユイテ上ノコニテハナイ、メイ<sup>チ</sup>己ガ身ダメニスト云ニテ行トコレ向ニ得ルコトニテ向ガ履食足シテセヌコト、ス上ヨリ威力ニテヲサヘテサセヌコトニテハナキナリ、以直心立之、以直心行之、以直心居之、徳之質也、コレハ會意ト云モノニテ人ニ得サスルコトナリ、行人<sup>コト</sup>偏ニスルハ人ヲシテ立之、行<sup>ラ</sup>之、居<sup>ラ</sup>之、以直心スルノ義ナリ、古字ニテハ、惠<sup>ト</sup>トカク、又偏ヲツケテモカクナリ、徳ト云ハ、大切ナルモノト云ハ、斯ニヨリテアルコトナリ、徳ト云モノ、モツタイナイ、忝<sup>カ</sup>ナクモカケマクモト云、光ノ出ルコトヨリシテ出ルヲ知<sup>ル</sup>キナリ、又曰、欽<sup>シ</sup>天命、祗<sup>シ</sup>鬼神、敬<sup>シ</sup>人道、而以直心立之、以直心行之、以直心居之、徳之光也、コノ場ノユクト云モノハ、戚々焉ト云ニイ

淨齋學小引 卷之二 二十三 各々圖成

タリテソレガ己ノ身ニナリ形ニナリ、事ニナラズシテハコレモ何ノ益ニモタヌナ  
リタト天命ヲ知タ、鬼神祇ノ用ヲ徹識シタト云トテモソレバカリニテハ一  
向ニ何ノ用ヲモナサヌモノナリ、コノ用ヲナスハ譬バ一向宗ノ彌陀佛ニ親  
鸞上人ヲ信シ宋儒ノ御朱子様ト云ガ如クニ信仰スルニテ用ハナスナリ  
故ニ鬼神ハ義デナケレハ享ヌト云ヲ以テ己ノ身ヲ處シ人ノ行フ所ノ道  
ハ天ノ常ニ視ル所ナリト云ヲ以テ敬ヲナシ陰モナク陽モナクコウ云ト  
コロガ己ノ持マヘト云ニナルト人ヨリモアノ人ノモチマヘトウケトリコレガ己ノ  
身ニナルト人民ガ珠數ヲ挂テ拜スルナリナゼニ人民カラコフスルゾト云  
ニコノ拜スルコトヲ我ヨリスルユヘナリ己レ以直心天ニ承以直心神明  
ニ承テコレガ人道ヲ行フ故ニコノ光アルナリ道ハ異ナレ其證據ト

云ハ法然上人親鸞鳥上人コレナリ我儕ゴトキノ愚癡文旨ナニカハシラズ  
タハ一心ニ本願ヲ思ヨリ外ハナシト云君子ノ道ハコレガ萬事ニコルアルナ  
リ又徳ヲ人ニ行フニツノシカタアルナリ曰以己與人和而不罪棄人  
一也必外己之太智歸之於天命與先古之人二也以直心居之以直  
心立之以直心行之三也ツノ以己與人和而不罪棄人ト云ハ虞書ニ  
至誠感神ト云コレナリ誠者和也古咸曰誠也トテ人ニタイスル所ノ  
ワザガトカズシテハトントユカヌコトナリ人ト和スルト云モノハ我ノ善所ハ  
トント除テ眞テ向ニル所ノ善所ヲ取テキテ是ハ我ノドウモ及ハヌコトハ  
己ハトルナリ又人ノ惡クテ和セラレヌモヤハリコレヲ弃ズ必ズ教ヘキ人ナリ  
ト不罪弃ナリサテ又天命ノコト人教ノコトコレヲコフスルトコレホドノ徳

ガアルナント見タカト云テハ一向ニトユカヌコトナリ、向ヨリシテアリカタキコト、忝ナキコト、云テクルトナルボドソコノ云トラリ、アリガタキコトナリト云テ、我ハ受テ己ヲ以テ人ニキセルコトハセヌナリ、サテ其己ノ心ニテハヒトスジニ、サテ古ノ聖人ノ教ハカヤウニケツカウナモノカト、感格シテオルナリ、徳ノ用ト云モノアルナリ、我不以惠於人、而人以爲惠於我、徳之用也、コレハ徳ト云モノヲ行フ上ニテ云ナリ、後世ニテ人ニ恩徳ヲカケルニツカウハコレヨリ轉ノツカウコトナリ、コレハ徳ノワザト云モノナリ、徳ノワザト云ハ人ニモノヲ行ハシムルニ、我ニハ苦勞心勞シテ、向テ我ヨリ居膳ヲシテサスナリ、コレ向ニハヤスクトシテサシテオイテ、其ウエニテ我ハ其モトタチノ庇ニ頼テ功ガタツト、向ヨリノ居膳ヲ我ハ承ルナリ、徳之在己、猶一全物、我量度人々之カ

剖分以適人々曰爲己以勞力爲之使人安然享之我終不以爲徳於人曰己頼人カ以成其己是其一也、成人之爲人而已無益於己、享以爲己之益也、而已之益在於其中、是其二也、人有頼於我而得而我、不敢以此爲徳於人、己以爲己自當行之事、是其三也、ソレ君ニタル人ノ所作ハ何ヲ人民ニ遺ト云コトモナク、惠コトモ無テ、萬民ハ莫大ノ賜ヲ受タリト思フソレハ向ノコトヲ成就スルト云モノガ經ニテ己ノコトヲ成ユヘナリ、向ニアルモノヲ向ニテ取テ来テ、向ノ人ニヤルユナリ、此故ニ惠而不費ト云ナリ、イツマテ界テモ上ニツキルト云コトハナキナリ、又コノ方ニテ苦勞心勞シテコシラエテ、向ノ人ニ居膳ヲ食ヤウニシテマルト云ハコレヲスルハ向ノワザニツイテ事ヲタテクユタコトナリ、サテコレヲ向ノ人ガ

スルニモ我ヨリサスト云コトニ向ナキコトニテ其我ヨリシテ向エ對シ云  
トコ只我ハ非カニテ何モ堪ハアカ又ガ何レモノヒキタテニヨルコトナリ又  
人ヲ人ニシテヤリ人ヲ立テヤルト云ガ我ヨリシタルコトナリソレヲ我ヨリ  
シテ向ヲ恩ニキテ戴テイルナリ又此上ニ今コノスルコトハ人ニヨルコトニテモ  
ナク人ノ爲ニスルニテモナイコレハ我ノアタリニニテセ子バナラヌコトニ  
テスル向ヘカケルト云ニテナクドコニテモ我ノスル所ヲシテ直道ヲ以テ  
己ノ身ハ處シテ有ガタシ奈ナキコトスルナリコレヨリテ下ヨリニテ何  
モ角モイハズシテ唯カダジケナイ有ガタイトノミ思ナクコレ盛徳至善  
民之不能諳也ト云コトハコレヨリ出ルトコロノコトナリ終始居其一  
而不改其道徳之體也コレハ我ノモチヘト云コトニナルヲ云ナリ始モ

終モアノ人ノモチヘデヤタテヂヤト云ニテナケレハ何モヤクニタヌナリ之則ニ  
大臣説ル所ノ種々ヲ身ニシテ萬事ノコト始終コレニアルコトナリ故徳ト  
云モノ亂ルト云トコロエユカヌナリ虞書曰傲戒無虞罔失法度罔遊  
于逸罔淫于樂任賢勿貳去邪勿疑疑謀勿成又曰罔違道以干  
百姓之譽罔拂百姓以從己之欲無怠無荒ト云ハミナコレヲ云ナ  
リコレハ己ノ徳ヲ亂サヌヤウニトスルコトナリモツトモ徳ニツイテハ難キ  
コトナリ凶徳ト云又ハ惡徳ト云ノルイハミナコレヨリ出ルトコトニテコレヲ執  
ト失スルトニアルナリ好生之徳洽于民心ト云モコレヲニテユクコトナリ  
一曰民依之ニ曰民懷之ニ曰洽於心四曰動於衆ソノ依之ト云ハコノ  
方ノ手モトガクルヲ又ト民ハ何ホドイヤテモシトムナガリテモスルヤウニナル

淨齋學子引 卷之二 二十一 齊國賦

我一也、不以力、二也、不以威、三也、不以利、四也、是徳之立也、コノ四ツト云  
モノハ、徳トハ反スルヤウチモノナリ、我トハ、我ノ方エ引ツケルト云コトヲセズシテ向  
ヲタテ、スルナリ、カニテヒギ、威ニテアタラオサエ、刑ニテ威シテハ、中々ユカヌ  
故ニ、呂刑ニ徳威惟畏ストイヘリ、今日爵位ニ居ズシテ、躬行ニテイハ、一曰  
得於己、二曰措於己、三曰行於人、ソノ得於己トハ、彼ヲ成ヲ以テ、己ニ得  
コトヲ知ナリ、コレハ自憚ノコトナリ、コノ得於己ノ中ニ、昭徳ト云モノアリ、昭トハ  
スジヲタテ、一ツトアキラカニスルコトナリ、又脩徳ト云コトアルハ、コレハ己ニ得タ  
ル上ニテ、人ニモガテンサスルヤウニト子リコムナリ、措於己トハ、終始一ニヲリテ  
アノ人ノヲサダマリト人ヨリイハスルナリ、コノコトノナラヌト云ハ、己レモノニ移  
ルノユヘナリ、怯ト云モノナリ、行於人トハ、下ニナル身ハ、向ニ行ト行マイトソレ

善惡ヲイハズシテスルモノナリ、コレハ向ヨリシテ、サスガハ徳ジヤトモロスハコレ  
ニテ言スコトナリ、コレ向ヨリ出ルモノニアフズシテ、己ガ始終一ニ處ト云ニア  
ルナリ、懷之トハ己ガ一ニアルユヘニ、向ノ人各々ノ身ヲ成就シテクレルト思  
フユヘニウシロガミノタツヤウニ思ナリ、洽於心トユキワタルト云モ、終始  
一ニ處ト云コトニアルナリ、動於衆トハ、民ノ上ニテハ、道ニヲモムクモアリ、道  
ニヲモムカヌモアルモノナリ、ソレヲ我ニ終始一ニ處ト、アチヨリシテ有ガタイ  
ト云モノガ出来テキテ、ソレカラアチヲヨリコチヲヨリ有ガタイ忝ナイト云ヤ  
ウニナツテ来テ下ガヒトリデニ動クモノナリ、然レハコレハマツタク直心ヲ以テ  
スルト云ニアルナリ、コレヲ名ツケテ效ト云ナリ、右ノ如クシテモ、マダ己  
ニ徹識セラレヌコトアルモノ故ニ、手ニ握ラル、モノヲ立ベキコトナリ、不以

ニハ一向カモウコトハナキナリ、何ブンニモ向ノ人ノ益ニナルヤウニシテ、言モシ行モスルコトナリ、其上ニテ向ニ行フトモ、向ノ人我ニヨリテスルトセズシテ、我ハ我ノ人ガラニテスルコト、シテスルナリ、又國家ニ出テスルハ、爲政以德コレラノルイナリ、此上ニ分徳種徳ノニツアリ、コレハ制ト云トコロノモノニテ、クミタテナリ、タトヘハ政ヲバクミミタテラスルニ、行イラセタル上マデノコトヲオツモリヲシテ、就成ヲシテラクナリ、其クミタテル上ニテ出スニハ、コウスルト人情ニ逆ウ、コウスルト人情ニ逆ハ又ト一段々々ト、ダンク分テ書テ出スナリ、コレハ我ニシテ、眞タル物ヲホツチクト、闕テ出スナリ、ミナ出シヲセルト、始ニ我ニシテ丸ニシテヲキタルモノニ成ナリ、コレラ一時ニドツト出スト、下ニアグムモノユナリ、サテ政ヲナスニハ、人情ヲ不知シテ、ハ一向ニ手ノ出ヌコトハ、固ノコトナリ、云マデモナシコレハ

詩ニ學ンテ、學ヒテ、セ、詩ヲ離レテ、何モカ角モノミコメバ、人情風俗コレヨリユクサキ指ザシシテ、教誨ラルガ如ク、觀ユルモノナリ、詩ヲ能ク學ヒテ、セタル人ハ、其國ノ言語風俗ヲ見ズ聞ズシテ、一ツノ器モノ、一ツノ染色ヲ見テモ、其國風政教ヲ知ニイタルモノナリ、種徳トハ、凡上ヨリ下ヘ物ヲ出スハ、一ツノ言ヲツケ、一ツノ名ヲ命ジテ、コレヲモノ種ヲ時節ニ、時ツケルト同ツス、此方ヨリ種ヲ時ツケヲロシサエスルト、向ヨリ芽ヲ出シ、枝葉ヲ榮ヤウニシテ、アテゴフナリ、向ガヒトリ悟、向ガ自然ガテスルヤウニシテ、出スコトナリ、コレハ、即向ノカニテ、ヒロゲノバスヤウニ、我ヨリモテ、アテゴフソレヲ一ツツニ言テキカスト、云ツケタギリニテ、向ノカハツキテ、少ノ功モタヌナリ、故ナルタテハ、竹園ニタニク、向ニ功績ノツクヤウニスルナリ、譬、板五枚アテゴフ

テ是ハタバコ益ニスルト云トクミタテハ向ニシテ火イレ灰フキライレモハト  
ハ知ナリ以徳者譬猶如播種也我但降其種耳其種既降而彼生其  
芽毛爲其枝葉也政ト云モノハ上ノ政ニナリテユカヌコトナリ下ノ政ニナラズ  
バナラ又上ノ政ニナルト上ノ物ズキト云モノニナル政非徳徳非政以政爲徳耳  
以政爲徳如何曰不以爲我政而爲彼政不爲使爲之而爲彼自爲  
其可爲者曰以彼之善爲己之受之曰勞而不伐以爲己頼人以成己曰  
使彼自得之曰使彼履足之故ニ衣服ノ制ヲ出スニモ向ニツイテシ  
テ向ニアルコトヲバ此方ヨリシテユクナリコレ主トナルコトアチヲコナラニナル  
ソレユヘニコレヲ各々が犯ト面目モナキコト云ニナリ以彼之善爲己之  
受之トハソノ方コレヲ爲ト爲ヌトノ中ニテ我ハ明君ニモナリ又暗君ニモナ

ルナリソレト云テ外ニアラズソノ方ノ身ニアル所ノ孝ヲスルガ我ヲ忠ナリ自得  
履足ハ向ノウケル所ニアルナリ此ノ如ク上ノセワニナリ苦勞ニシテハト云情  
ガ出ルナリコレヲノコトハ敷ト云モノナリ既已ニ敷クセタル上ニテ又スルコトガ  
アルナリ以事物ヲ養之也以休戚歌樂成之也養之上ハ天物ト云モノヲ以シテ  
手ニ觸ルモノ身ノ由トコロニハ道ヲ寓ニ教ヲ託ス身體ヲ教ヤ道ノ器ニイ  
テヲクナリ虞書ニ水火金木土穀惟脩正徳利用厚生惟和九功惟叙九  
叙惟歌ト云リ又冠昏喪祭五福六極咎微ノルイ人民ノ上ニ歌舞スルコ  
トヲ以テ道トナシ教トシテユク故ニ戒之用休董之用威勸之以九歌  
ト云リソノ徳者聖人之所以感人之心也ト云ハ何レエモツクモノナリ右ニテ  
徳ヲ得徳ヲ脩スルヲ備ト云ニハアラス右後ヤ先ニ説ル所ニテヲダハイ

ニテ徳ノ大<sup>ニ</sup>臣ヲ知ナリ其徳ヲ得ルニ我ニ繩規ト云モノヲ執テ古人ノ言ニテ  
モ今人ノ行ニテモ取コトラス一曰畏天命二曰畏大人三曰畏聖人之言  
四曰怪カ亂神又曰徳言又曰忠信天命ハ礼樂五典ハ總テ天下ノ物天ニ  
則リテ聖人ノ制作スル所ナリ畏ハ身ヲ子バメテ懼テ敬スルナリ大人ハ王侯  
レキナリコレヲ假ソメニモ蔑ニシテ見ルコトヲセズ身ヲバタテ畏コレ同ク  
天命ニ出テ重キ所ナリ下位ニ居テ有徳ヲ大人ト稱スルハ王侯ヨリ一轉シテ  
来ルナリ聖人ノ言ヲ畏ルハ天ニ代リテ言テ天子諸侯及ヒ士大夫萬民ノ  
憲範タルユナリ徳言ハ天子ニモ行ヒ匹夫匹婦ニモ行ヒ大ニモナリ小ニモナリ  
廣クモ狭クモ行ヒテ教ヤ礼ヲナスニ歸スルモノナリ怪カ亂神ハ孔子ノ不  
語トコロ忠信ハ萬差千別アリテモ此規矩ヲハズレルモノナシ夫古之教ニ

講義講説ノコトアリ徳ヲ脩メ徳ヲ得ノ要ヲク斯ニアリ此道ヲヨク會  
得シタル徳ニ進ノ大端ヲ得タルナリ獨學ニテハ中々大臣左徳ヲ成コ  
トハナラヌモノニテ螢雪ノ功ハミエヌモノナリ世ノ軽才諷説ノ人ハミナ  
書藉サヘアレハ學文ハイカヤウトモナルト心得テ聖人仁知ノ域エモ入ル  
ヤウニ思フハ古ノ脩學ニウトキユヘナリ凡聖人之道ノ幽蹟ハ言語ノ上ニテ  
其微意微言ヲサトス喻コトアリ示スモノニテ有徳之人有道之士ニ就テ學ブ  
ニアラザレバ黙ノ識スコトハ容易ニナラヌモノナリ筆墨竹帛ヲ以テセラレ  
ヌトモ極テアルナリコレハ左右シテ講説ヲ聽退テ討論スル上ニテ得コトア  
リ孔子ノ言ニ講學講礼ノ誨アリ故ニ孔門ニテハ是ヲ第一トス學子而  
ニ師ニ就テ學子ヒタル上ニテ退テ獨リ脩思シテ始テ己ニ徳ヲ得ルコトヲ

論語集注卷之二十一 論語集注卷之二十一



主トノ擧タリ、先進ニハ退テ脩タル上ニテ出テ師ヤ朋友ト與ニ講集シテ、  
道ヲ得ルヲ主トノ擧タリ、サテコソコレヨリテ人々講說對問ノ上ヨリ、  
一種ノ道ヲ生ズルコトアリ、彼ト此トノアタリ合ノ上ニアルナリ、其美ナルモノハ、  
子路曾皙冉有公西華侍坐スルノ章ノ如キ、凡師友ノ間ハ和集ヲ好トス、  
今コニ師友會スルニ始ヨリ瑟ヲ鼓ス者アリ、此ノ如ク中ニテ夫子諸子ノ志  
ヲ問サテ各志ヲ言フセタル上ニテ自然ニ美觀ノ出ルコトアリ、凡天下國家  
ノ上ニテ爲コトアルモノハ始ニ制ト云モノヲ執テコレヲスルヲ制ハ礼ヨリ建モノナ  
リ、子路ノ言ニアリ、コノ上ニテ事ハタツテ富スコトナルナリ、冉有ノ言コニアルガ、  
國富財贍テ教ハホドコサルモノニテ公西華ノ言ハ礼教ニアルナリ、  
化ハ成テ周召ノ風ハ出ルナリ、曾皙ノ言コニアルナリ、三子者出テ曾皙ノ問

ハ言ヲ傳物ヲノコスノ道ニアルナリ、言ヲ傳ルハ其要ニアリ、コレ化ナリテコ  
レヲ持シコレヲ千萬世ニ垂ルモノナリ、又モシ曾皙瑟ヲ鼓スルニキトキハ  
第一ニ對ルカ、子路ニ次テ對ベキナリ、ソレヲ瑟ヲ鼓スルニ託シ、竊ニ三子  
ノ志ヲ觀テ其對ヤウヲ思索スルナリ、コノ思索ニヨリテ夫子ヲ嘆ゼ  
シムル言ヲ生ズ、コレ思フト云モノ、大切ナルナリ、是以ヲヨソ天下國家ノ  
凡百事ミナク一ツツニ思ヲ得タル上ニテ出スコトヲ知ナリ、サテ此章  
ノコト、夫子ヲ始メ四子ニ此次序ノ意ヲ始ヨリ藏スルニアラス、自然  
ニ成モノナリ、コレ亦一章ノ上ニアル聯觀ノ道ナリ、朋友ノ間ニテ、今ノ  
先生家ト稱シテ席ヲ張テ賣講スル如キ、丁無ハ勿論ノコトナリ、師ノ  
弟子ニ於ルモ、當時先生家ト稱シテ賣講スルガ如キモ、古ニハコレ有マ

然リトハイヘコレニ類シタルコトハ有ナリ、席ヲ張テ長少ノ位ヲ正シ  
 テ詩書礼樂ノ義ヲ講説スルコトハ、束脩ノ礼ヲ整テ門ニ入弟子ニハ  
 誨ヘザル所ナキナリ、コレヨリ由テ其微意微言ハ傳ウケルコトナリ、近世講  
 釋トイヘルモノ脩學ニハ益ナキト云ル人モアルヨリテ雷同シテ古  
 ノ講説ニハ大義大用アルヲモ不辨シテ此道ヲモ廢棄シテ大方之  
 家ニ笑ハルベキコトアリ、コレ詩書易春秋論語ヲ見ル、左氏孟荀ニ  
 均シテ其要トスル所々、博ク諸子百家ヲ涉ルヲスルニアリ、其實ハコレ  
 ニテ經濟ヲ爲ントスルナリ、彌博シテ彌經濟ニハ遠ナリ、終ニ所謂儒者  
 ナリ、ソレ古聖人仁知之人ノ言ハ比シテ言コトアリ、假テ明ニテアリ、譬喩  
 シテ示スコトアリ、器ニ藏シ形ニ籠ルアリ、連テシラセ離テ見セ、抑揚黜陟

非譽ヲ以テコレヲ寓シ、助字ニ微意ヲ留メ、文字ニ教アリ、文字ニ事ア  
 リ、君子ニ大用アリ、小人ニ小用アリ、コレ皆先覺ノ人ニ就テ得ニア  
 ラザレバ、急ニハ手ニ握コトモ難シ、我 齋夫子常ニコレヲ嘆ジタマヘリ、コ  
 レ先覺ノ人ノ得カタクシテ、又微意微言ヲ得ル甚、勞苦焦心ニテコレ  
 ヲ得テモ就テ正スベキ人ヲ見ザルヲ嘆ジタマヘルナリ、コレ先王之道ハ詩  
 書易春秋論語ニ存ストハイ、其人アリテ微意微言ヲ知ニアラザレバ  
 所謂古人之糟糠ナリ、故ニ道ハ其人ニヨツテ相見ナリ、筆端ノヲヨバ又所ニ  
 必ズ存スルコトアリ、其聖人及ヒ仁知ノ人ノ言ハ、必微意微言ノ有コトハ勿  
 論ナレバ、又密授モナキトハイ、コレ又モノナリ、其必竟ズル所ハ、天命ヲ畏ル  
 ニ歸スルナリ、コレ天機ヲモラシテ天遣ヲ得シヲオソル、故ニ君子之宗

徳言ナリサテコソ老子ノ書ノ如キ又易ノ繫辭ノ如キハ別シテ此意  
味ヲ知ズシテハ終ニ讀ウルコトハナラヌナリ矧ヤ微識スルコトヲヤ

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, mostly illegible.]*

靜菴用學子小引卷之一終



